

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和2年6月24日

施 設 名	高知県立人権啓発センター	所管課	文化生活スポーツ部人権課
-------	--------------	-----	--------------

1 施設の概要

指 定 管 理 者 名	(公財)高知県立人権啓発センター	指定期間	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日
施 設 所 在 地	高知市本町4丁目1番37号		
事 業 内 容	1. 施設利用に関する業務 ・施設利用の許可等 ・施設利用の許可の取消し等その他の利用の許可に関する業務 (施設 : ホール、視聴覚室、図書資料室兼閲覧室) 2. ホール使用料の徴収に関する業務 3. 施設および設備の維持・管理 清掃、警備、電気、設備の保守点検等		
施 設 内 容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 面積 : 丸ノ内ビル(3,453.4㎡)内4F~6F(1,443.81㎡) 施設 : 4F 視聴覚室(定員48人)(利用前日までに申請。 ただし、人権に関する利用に限る。) 5F 図書資料室兼閲覧室 6F ホール(定員270名)(利用10日前までに申請) 開館時間 : 9:00~17:00 休館日 : 土、日、祝祭日及び年末年始		
職 員 体 制	常勤職員:7人 非常勤職員:5人 臨時職員:1人 合計:13人 (職員数はH31年4月1日現在)		

2 収支の状況

単位:千円

		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(予算)
収 入	県支出金	10,210	10,520	10,618
	使用料・手数料	0	0	0
	その他	0	0	0
	収入計 (a)	10,210	10,520	10,618
支 出	事業費	0	0	0
	管理運営費	9,705	9,927	10,252
	人件費	326	357	366
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	10,031	10,284	10,618
収支差額 (a)-(b)		179	236	0

3 利用状況

	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	令和2年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	18,832	18,802	19,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) ①利用者からの意見:2件 ※平成25年5月から「意見箱」を設置中 【意見内容】 ・会場が明るく、(上映)作品に集中できない。 サイドライトを落とした方が良いのではないかと？ ・(ホールを利用したが)大変良かった ②利用団体からのアンケート:3件 ・「非常に満足」1件 ・「まあまあ満足」2件 【利用団体からの意見】 ・丁寧に対応していただけた。また利用させていただきたい。 ○ 利用者意見等を踏まえた対策 ・ホールの明るさについては、利用内容に応じてきめ細やかに対応していく。 ・また、令和2年度、照明設備更新工事を実施し、LED照明に取り替えることでさらに利用者の利便性を高めていく。 ○ その他		
③その他特記事項			

4 令和元年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	・基本協定書に基づき適正に管理運営されている。 ・消防計画による消防訓練を丸ノ内ビル全体として(社福)高知県社会福祉協議会と合同で実施している。(令和元年1月21日実施) ・平成18年度からAEDを設置。全職員が操作できるように毎年講習を受け、センター利用者の緊急時に対応できるよう努めている。 また、日々の点検確認やAEDの電池交換も行われている。 ・地震対策マニュアルをビルの管理者である(社福)高知県社会福祉協議会と作成した。(平成24年9月) ・備品管理については、現在使用していない物の廃棄等を速やかに検討する必要がある。 ・物品購入は、再生紙購入等「高知県グリーン購入基本方針」に基づき行っている。 ・平成23年度から「高知県庁環境マネジメントシステム」に取り組んでいる。 ・施設賠償責任保険の補償範囲や金額、特約等は適切である。 ・個人情報の保護については、(公財)高知県人権啓発センター個人情報保護要綱等を設けるとともに、これに基づき適正に執行している。 ・施設情報や取組内容等をきめ細かにホームページに掲載する等、積極的に情報発信を行っている。 【ホームページアクセス数】 平成29年度 123,857件 平成30年度 188,627件 令和元年度 201,776件 ・コピー用紙の裏面を使用したり、昼休みの事務室の消灯を行う等、経費節減に取り組んでいる。
②利用者サービスの維持向上	・利便性向上のため、ホームページ上に利用申請書や予約状況を掲載している。 また、予約状況を随時更新する等、利用者の立場に立った配慮がなされている。 ・利用団体アンケート結果から、「非常に満足」と「まあまあ満足」との回答を得る等、より良いサービス水準が維持できている。

③利用実績	利用人員（利用回数）の年度推移 平成29年度 6Fホール 16,983人（148回） 視聴覚室 998人（34回） ライブラリー 645人 平成30年度 17,127人（154回） 974人（38回） 731人 令和元年度 17,145人（154回） 820人（27回） 837人 ※6Fホール及びライブラリーは、利用人員が前年より増加している。
④収支の状況	県から収納委託を受けている施設使用料は昨年と比較して減少。 2～3月に新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応（休館）及び主催者の利用自粛が影響していると考えられる。 ※ ホール使用料 令和元年度 2,739,790円（対前年度比92.8%） 平成30年度 2,951,150円（対前年度比101.1%） 平成29年度 2,918,140円（対前年度比100.7%）
総合評価	B ・施設管理においては、丸ノ内ビルの管理者である（社福）高知県社会福祉協議会と連携し、仕様書どおりの業務が遂行されていた。 ・利用者へのサービスについては、利用者の要望に柔軟かつ速やかに対応するなどし高評価を得ている。（利用者アンケート結果より） ・HPや季刊誌等を活用した積極的な情報発信により、センター及び県の取組を効果的に周知できている。 ・施設設備の老朽化に関しては、段階的に更新を実施している。 ※令和2年度は照明設備更新工事を実施予定 ・備品管理については、使用の有無を整理し、速やかに廃棄等を検討する必要がある。 以上のことから、概ね仕様書の内容どおりに適正な管理が行われたと認められる。 今後のホール等の貸し出しについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じながら、適切に管理・運営を行うよう引き続き指導、連携していく。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの